



# 安全だより

第35号

平成30年10月発行

公益社団法人

東大和市シルバー人材センター

安全管理委員会

## 委員長挨拶

今年の夏は、気温が35度を超す猛暑、大型台風の襲来、数多くの地震と災害に見舞われました。会員の皆様におかれましては防災認識を一段と高められたことと推察いたします。

安全管理委員会に2名の新委員をお迎えしました。窪田 進理事、小林巳喜雄理事です。より一層安全管理の充実をはかり、会員のお役に立ちたいと存じます。よろしく願いいたします。

当センターの平成30年度事故件数が、9月の時点で前年度の件数を上回りました。

傷害事故6件(茶毒蛾・蜂刺され3件、転倒(自転車)2件、熱中症1件)

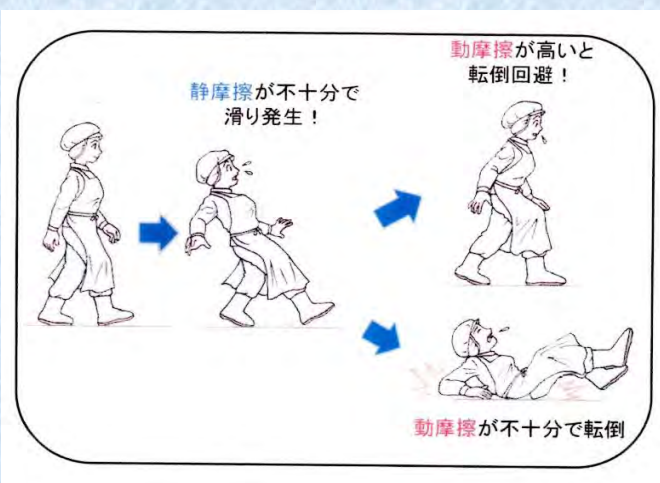
賠償事故2件(電線被覆切断、壁損傷)

今年は猛暑による影響も多少あるとしても、事前の対策・点検・注意をしていたか、安全就業規則の確認はしていたか、慎重に行動、余裕をもって先を見ていたかが欠けていた結果ではないでしょうか。自身を律して、事故の防止に心がける気持ちが必要と思われます。

就業されている会員の皆様には、ご自身の行動を見直し、より安全に注意をはらい、注意深く規則を守った行動をお願いいたします。年度後半は、寒さ・降雪などで転倒事故が多くなり、さらなる慎重な行動が必要ですのでご留意いただきたいと思っております。

## 転倒災害を防止する自分自身

### の強い意識を持ちましょう!



滑りにくく、サイズの合った靴の着用で転倒を防ぐ

日常生活における事故で、救急搬送されている高齢者の約4割が転ぶ事故で入院している。転んだ際に重症化しやすく、寝たきりになる場合もあるので注意が必要です。

(平成28年度東京消防庁管内データ)

特に転ぶ中で、滑りによる転倒が重症化を招きます。

#### 対策としては

- 1: 自宅、職場では、床が濡れている場合は、良く拭き、油汚れの床は、直ぐ修理する
  - 2: 環境整備 滑りにくい靴の着用(雨、雪の日)  
※特に雪の日(凍結時)は砂をまくと効果があり
  - 3: 自分自身の転倒防止  
一息おいて周りを確認する余裕を持つ  
転ばぬ先の杖・自分を過信しない
- 以上、転倒災害を防止する強い意識を持ちましょう。

(東京しごと財団研修抜粋)

# 平成30年度健康診断受診調査結果

健康診断受診調査につきまして概要がまとまりましたのでご報告いたします。  
提出にご協力いただきありがとうございます。

## 実施内容

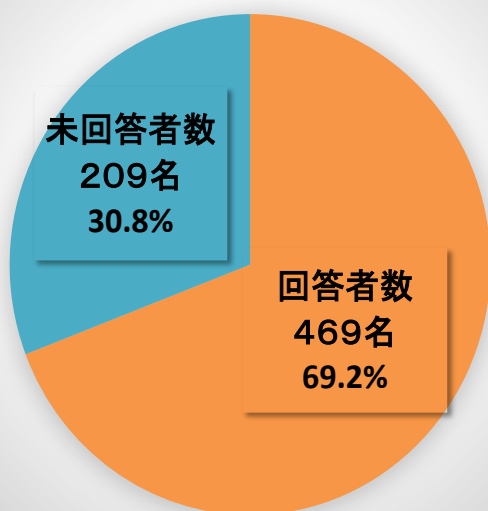
- ・平成30年7月26日現在の登録会員678名に対し健康診断受診調査用紙を配布。
- ・平成30年8月31日までに回収。平成29年4月～平成30年3月（平成29年度）の間に健康管理の一環として健康診断を受診されたか否かを問いました。

## 評価

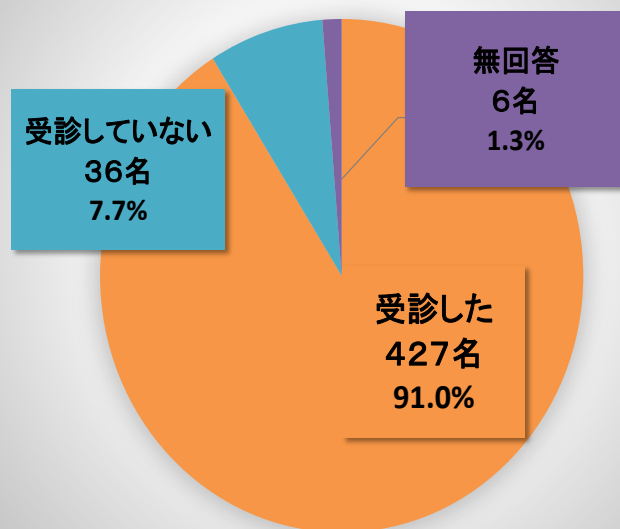
1. 調査の回答率が向上した。**69.2%**(平成29年度前回52.0%)
2. 回答者及び就業者の受診率は**90%以上**の高率を維持しました。



### 全体の回答者数

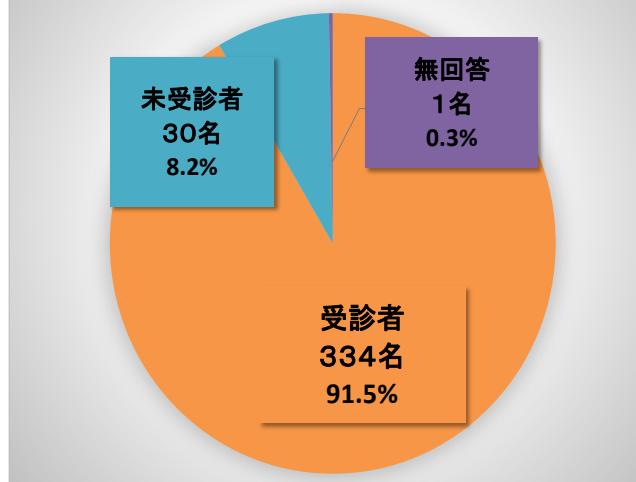


### 回答者受診率



	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
登録会員数	639	619	609	609	678
就業者数	495	460	455	441	456
就業率	77.5%	74.3%	74.7%	72.5%	67.3%
回答数	348	275	259	317	469
回答率	54.5%	44.4%	42.5%	52.0%	69.2%
受診者数	320	251	248	292	427
回答者受診率	92.0%	91.3%	95.8%	92.1%	91.5%

### 就業者(提出者)中の受診率



# 「家庭・近所」で行う応急手当（応急救護訓練より抜粋）

平成30年10月3日（水）10時より、奈良橋市民センターにて東京消防庁北多摩西部消防署救急係2名の指導のもとに開催をいたしました。

当日は、会員21名、事務局2名が参加し人工呼吸法・AEDの使用手順について実技訓練を真剣に学びました。以下に家庭内・近所ですぐ役立つ応急救護法（胸骨圧迫・人工呼吸）をピックアップしましたので参考にして下さい。（常に想定しておく事⇒想定外と考えない事）

## 手順1（反応があるか確認！）

軽く肩たたきながら大丈夫？と声を掛けながら「普段どおりの息」をしているか確認する。



## 手順2（119番通報とAEDの手配！）

必ず指名して「119番」通報して下さい！と依頼する。「AED」の手配を依頼する。



## 手順3（胸骨圧迫＋人工呼吸を交互に！）

普段どおりの「呼吸」がない、又は判断に迷う場合は、すぐに胸骨圧迫を「30回」行う。  
※小児の胸骨圧迫の場合は、胸が「5cm沈む位」押し「人工呼吸を併用」すると効果大きい。



## 手順4（手順3を救急車が到着まで継続！）

訓練を積み技術と意思がある場合は、胸骨圧迫後、人工呼吸を2回行う。  
30回胸骨圧迫後、すぐに人工呼吸を「1回/秒」で「2回」息吹き込む(以後繰り返す)



※通報は、あわててしまい以下の内容まで思い出せない多くの事例があります。

①自宅の電話・住所・目標物を書いて冷蔵庫・電話器付近に貼って置く。

②通報先⇒119番、相談窓口⇒#7119番

※AEDは、駅・公共施設・会社・スーパー・コンビニ等々に置いてあります。

①自分の安全第一、感染防止に注意

②取り扱いは、AEDの音声ガイドに従って下さい。

③人工呼吸をできない時は、胸骨圧迫のみ継続する。

# 熱中症予防講習会実施報告

平成30年7月4日（水）午前10時からシルバー人材センター1階にて大塚製薬株式会社東京支店立川出張所課長千葉雅裕氏を講師に招き、「熱中症症状の現れ方」「治療方法」「応急処置の方法」等を教えていただきました。

## 症状と手当て

熱中症症状

めまい、立ちくらみ、手足のしびれ、頭痛、吐き気

手当て

室内、風通しの良い日陰、涼しい場所へ避難させる  
衣服を緩め、体を冷やす（特に、首回り、脇の下、足の付け根など）



## 熱中症対策

室内では

扇風機やエアコンを使用する

外出時

日傘や帽子の着用  
日陰の利用、こまめな休憩  
日中の外出をできるだけ控える  
のどの渇きを感じなくても、こまめに水分・塩分を補給する

## 安全だより第34号掲載（KYT）の解答

汚れた雑巾で窓に傷をつける  
⇒清潔な雑巾など、傷がつきにくいもので丁寧に拭く

発注者の所有物（花瓶）に接触し破損させる  
⇒あらかじめ安全な場所に移動する

全員があなたです  
予想される危険を想定してください

不安定な椅子の上で作業し  
バランスを崩して墜落する  
⇒手がかりが確保できる高さの脚立を使用する  
柄の長いモップなどを使用する

発注者の所有物に掃除機などが接触し破損させる  
⇒あらかじめ安全な場所に移動する

重量のあるテーブルや棚などを一人で移動させる際、引きずって床を傷つける  
⇒基本2人作業  
1人で行う場合は接地箇所に緩衝材を使用する

掃除中にバケツにつまずいて転倒する  
⇒掃除中に接触することがない安全な場所に移動する